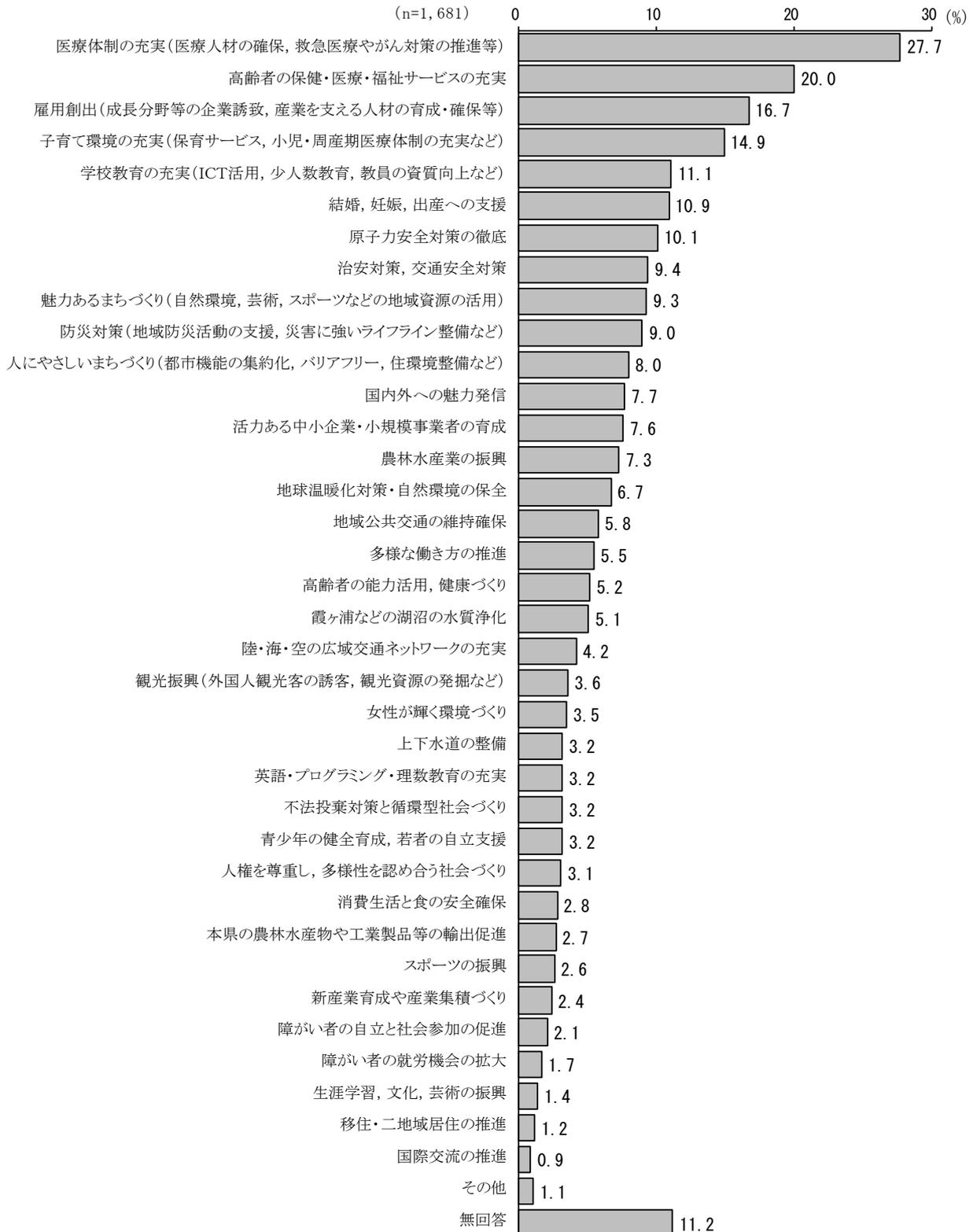


X 県政への要望

1. 県政への要望

－「医療体制の充実（医療人材の確保，救急医療やがん対策の推進等）」が約3割－

問32 県の行政全般について考えた場合，あなたは，どのような面に力を入れてほしいと思いますか。（○は全体（1～37）の中から3つまで）



県政への要望としては、「医療体制の充実（医療人材の確保，救急医療やがん対策の推進等）」（27.7%）が約3割と最も高く，次いで，「高齢者の保健・医療・福祉サービスの充実」（20.0%）が2割，「雇用創出（成長分野等の企業誘致，産業を支える人材の育成・確保等）」（16.7%）と「子育て環境の充実（保育サービス，小児・周産期医療体制の充実など）」（14.9%）が1割台半ばで続いている。

－すべての地域で「医療体制の充実（医療人材の確保，救急医療やがん対策の推進等）」が1位－
地域別でみると，「医療体制の充実（医療人材の確保，救急医療やがん対策の推進等）」が，すべての地域で1位となっている。

－男女共に「医療体制の充実（医療人材の確保，救急医療やがん対策の推進等）」が1位－
性別でみると，「医療体制の充実（医療人材の確保，救急医療やがん対策の推進等）」が男女共に1位となっている。

表X 32-1 県政への要望（地域別－上位5項目）

（単位：%）

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 n=1,681	医療体制の充実 27.7	高齢者の保健・医療・福祉サービスの充実 20.0	雇用創出 16.7	子育て環境の充実 14.9	学校教育の充実 11.1
地域別 県北 n=356	医療体制の充実 30.6	高齢者の保健・医療・福祉サービスの充実 20.8	雇用創出 19.1	子育て環境の充実 13.8	原子力安全対策の徹底 11.8
県央 n=278	医療体制の充実 30.6	雇用創出 19.4	高齢者の保健・医療・福祉サービスの充実 17.3	子育て環境の充実 15.1	学校教育の充実 13.3
鹿行 n=149	医療体制の充実 35.6	高齢者の保健・医療・福祉サービスの充実 20.8	学校教育の充実 14.1	雇用創出／結婚，妊娠，出産への支援	12.1
県南 n=550	医療体制の充実 21.8	高齢者の保健・医療・福祉サービスの充実 20.9	雇用創出 16.9	子育て環境の充実 16.5	学校教育の充実 11.5
県西 n=307	医療体制の充実 27.7	高齢者の保健・医療・福祉サービスの充実 20.8	子育て環境の充実 15.0	結婚，妊娠，出産への支援 14.0	雇用創出 13.0
性別 男性 n=798	医療体制の充実 27.3	雇用創出 19.7	高齢者の保健・医療・福祉サービスの充実 19.4	子育て環境の充実 12.3	学校教育の充実／結婚，妊娠，出産への支援 11.2
女性 n=861	医療体制の充実 28.5	高齢者の保健・医療・福祉サービスの充実 21.1	子育て環境の充実 17.7	雇用創出 14.4	原子力安全対策の徹底 12.1

－男性の30代，女性の18～29歳，30代で「子育て環境の充実（保育サービス，小児・周産期医療体制の充実など）」が1位－

性・年齢別でみると，男性の30代，女性の18～29歳，30代で「子育て環境の充実（保育サービス，小児・周産期医療体制の充実など）」が1位となっている。

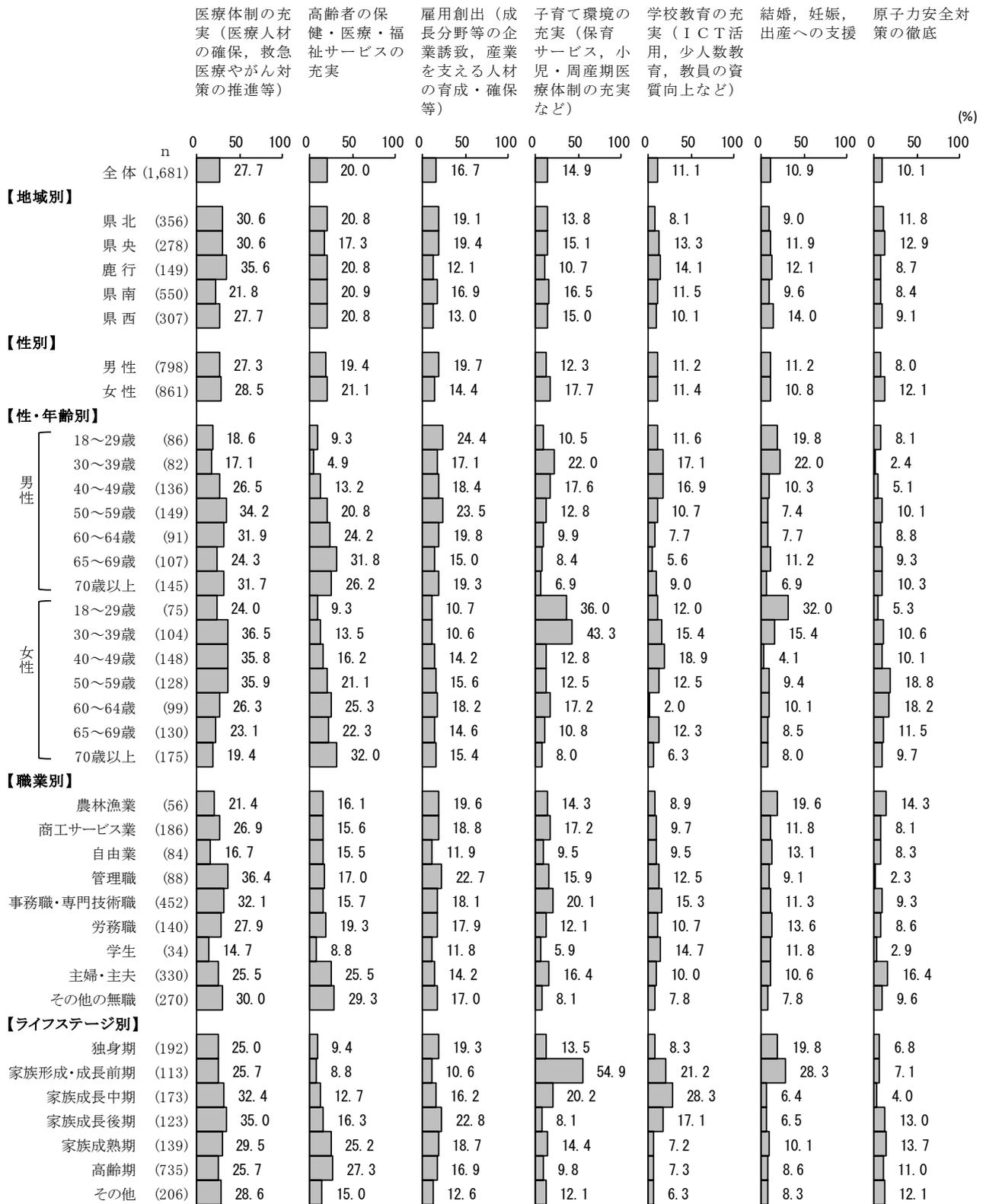
表X 32-2 県政への要望（性・年齢別—上位5項目）

（単位：％）

		1位	2位	3位	4位	5位
男性	18～29歳 n=86	雇用創出 24.4	結婚、妊娠、出産への支援 19.8	医療体制の充実 18.6	魅力あるまちづくり／活力ある中小企業・小規模事業者の育成	15.1
	30～39歳 n=82	子育て環境の充実／結婚、妊娠、出産への支援 22.0		治安対策、交通安全対策 19.5	医療体制の充実／雇用創出／学校教育の充実	17.1
	40～49歳 n=136	医療体制の充実 26.5	雇用創出 18.4	子育て環境の充実 17.6	学校教育の充実 16.9	治安対策、交通安全対策 16.2
	50～59歳 n=149	医療体制の充実 34.2	雇用創出 23.5	高齢者の保健・医療・福祉サービスの充実 20.8	子育て環境の充実／活力ある中小企業・小規模事業者の育成	12.8
	60～64歳 n=91	医療体制の充実 31.9	高齢者の保健・医療・福祉サービスの充実 24.2	雇用創出 19.8	子育て環境の充実／魅力あるまちづくり／高齢者の能力活用、健康づくり	9.9
	65～69歳 n=107	高齢者の保健・医療・福祉サービスの充実 31.8	医療体制の充実 24.3	雇用創出 15.0	結婚、妊娠、出産への支援／防災対策／農林水産業の振興	11.2
	70歳以上 n=145	医療体制の充実 31.7	高齢者の保健・医療・福祉サービスの充実 26.2	雇用創出 19.3	農林水産業の振興 13.1	原子力安全対策の徹底 10.3
女性	18～29歳 n=75	子育て環境の充実 36.0	結婚、妊娠、出産への支援 32.0	医療体制の充実 24.0	治安対策、交通安全対策 20.0	学校教育の充実／魅力あるまちづくり／多様な働き方の推進 12.0
	30～39歳 n=104	子育て環境の充実 43.3	医療体制の充実 36.5	学校教育の充実／結婚、妊娠、出産への支援 15.4	高齢者の保健・医療・福祉サービスの充実／魅力あるまちづくり	13.5
	40～49歳 n=148	医療体制の充実 35.8	学校教育の充実 18.9	高齢者の保健・医療・福祉サービスの充実 16.2	雇用創出／治安対策、交通安全対策／魅力あるまちづくり	14.2
	50～59歳 n=128	医療体制の充実 35.9	高齢者の保健・医療・福祉サービスの充実 21.1	原子力安全対策の徹底 18.8	雇用創出 15.6	子育て環境の充実／学校教育の充実 12.5
	60～64歳 n=99	医療体制の充実 26.3	高齢者の保健・医療・福祉サービスの充実 25.3	雇用創出／原子力安全対策の徹底	18.2	子育て環境の充実 17.2
	65～69歳 n=130	医療体制の充実 23.1	高齢者の保健・医療・福祉サービスの充実 22.3	雇用創出 14.6	学校教育の充実 12.3	原子力安全対策の徹底／人にやさしいまちづくり 11.5
	70歳以上 n=175	高齢者の保健・医療・福祉サービスの充実 32.0	医療体制の充実 19.4	雇用創出 15.4	人にやさしいまちづくり 13.1	地球温暖化対策・自然環境の保全 10.3

図X 32—1 県政への要望

(地域別、性別、性・年齢別、職業別、ライフステージ別—上位7項目)



表X 32-3 県政への要望
(前回調査との比較-上位5項目)

(単位：%)

	1位	2位	3位	4位	5位
今回調査 (H30) n=1,681	医療体制の充実 (医療人材の確保, 救急医療やがん対策の推進等) 27.7	高齢者の保健・医療・福祉サービスの充実 20.0	雇用創出(成長分野等の企業誘致, 産業を支える人材の育成・確保等) 16.7	子育て環境の充実 (保育サービス, 小児・周産期医療体制の充実など) 14.9	学校教育の充実 (ICT活用, 少人数教育, 教員の資質向上など) 11.1
前回調査 (H29) n=1,072	子育て支援・少子化対策を推進する 32.6	医療体制(医療従事者の確保, 救急医療やがん対策の推進など)を充実する 29.7	高齢者福祉サービス体制(老人福祉施設, ホームヘルプなど在宅福祉)を充実する 29.2	治安の向上(防犯, 交通安全対策)を図る 14.6	高齢者の健康, 生きがいづくりを推進する 14.2

※今回調査から選択肢を変更しています。

※平成29年の調査結果(個別面接聴取法で実施)

2. 県政への要望の選択理由（自由記載の集計と一部抜粋）

－「医療体制の充実（医療人材の確保、救急医療やがん対策の推進等）」を選んだ理由では、「安心して暮らせるように／体制の充実を希望」が最も多い－

（問32で「1」～「36」と回答した方へ）

問32-1 問32で選んだ項目について、選んだ番号と、その項目を選んだ理由や具体的に県に対して望むことを自由にご記入ください。

「医療体制の充実(医療人材の確保、救急医療やがん対策の推進等)」を選んだ方(n=465)

順位	項目	件数
第1位	安心して暮らせるように／体制の充実を希望	71
第2位	医師不足の解消	66
第3位	医療人材の育成・確保、待遇改善	33
第4位	地域による格差の解消	29
第5位	救急医療体制の充実	23
第6位	病院不足の解消	21
第7位	高齢化社会に向けて	16
〃	休日・夜間の医療体制の充実	16
第9位	がん対策の充実	14
第10位	高度医療、医療設備の充実	13

「雇用創出(成長分野等の企業誘致、産業を支える人材の育成・確保等)」を選んだ方(n=281)

順位	項目	件数
第1位	働く場が増えてほしい	31
第2位	若者等の人材の県外流出を防ぐ	30
第3位	企業の誘致	27
第4位	経済発展・地域の活性化のため	22
第5位	人口の増加／減少の抑制	20
第6位	収入を得ることで安定した生活を送れる ／仕事が生活の基本	15
第7位	人材の育成	10

「学校教育の充実(ICT活用、少人数教育、教員の資質向上など)」を選んだ方(n=187)

順位	項目	件数
第1位	次世代を担う人材の育成に力をいれるべき	35
第2位	教員の資質の向上、増員	21
第3位	学力向上の取組	12
第4位	少人数教育の推進	11
〃	授業の充実、工夫	11

「原子力安全対策の徹底」を選んだ方(n=169)

順位	項目	件数
第1位	安全対策、自然災害への対策の徹底	37
第2位	原発の稼働停止・廃炉を望む	32
第3位	原発は危険／怖い／不安がある	19
第4位	脱原発／再生可能エネルギーへの転換	14
〃	原発は安全性に問題があるので	14
第6位	福島のようにならないように	12

「高齢者の保健・医療・福祉サービスの充実」を選んだ方(n=337)

順位	項目	件数
第1位	高齢化が進んでいるから	38
第2位	高齢になっても安心して暮らせるように	35
第3位	自分(家族)が高齢者なので／今後なるので	17
〃	医療サービスの充実	17
第5位	福祉サービスの充実	15
〃	特養老人ホーム等の介護施設の充実	15
第7位	医療費が高い／保険料等の負担軽減を	13
第8位	移動手段の確保・支援	11
〃	生活が苦しい・経済的支援が必要	11
第10位	一人暮らし・高齢者世帯へのサービスの充実	10

「子育て環境の充実(保育サービス、小児・周産期医療体制の充実など)」を選んだ方(n=250)

順位	項目	件数
第1位	安心して子育てできる環境づくり・支援の充実	67
第2位	保育施設の整備・待機児童の解消	26
第3位	少子化対策	21
第4位	小児医療・周産期医療の充実	18
第5位	仕事や介護と子育ての両立支援	17
第6位	保育サービスの充実	16
第7位	若者に茨城に住んでもらうように	11

「結婚、妊娠、出産への支援」を選んだ方(n=183)

順位	項目	件数
第1位	子育て支援の充実	31
第2位	妊娠・出産への支援	28
第3位	結婚・婚活への支援／出会いの場の提供	27
第4位	人口の増加／減少の抑制のため	24
第5位	少子高齢化が進んでいるため	22

「治安対策、交通安全対策」を選んだ方(n=158)

順位	項目	件数
第1位	安心安全な環境で暮らしたい	28
第2位	交通ルール・マナーの順守	20
第3位	交通安全対策・交通事故防止	15
第4位	交通違反者の取締り	9
第5位	パトロールの強化	8

※回答内容ごとに項目へ分類し、項目上位を抜粋。

※一人の回答が複数の内容に渡る場合には、それぞれの項目へ分類。

「医療体制の充実（医療人材の確保、救急医療やがん対策の推進等）」を選んだ理由

【記載内容の一部抜粋】

- 高齢者なので、救急医療の病院があまりないので毎日の生活が不安で心配です。(男性, 70歳以上)
- 医師、看護師等が、他県にくらべて少ない。つくば、水戸に医療従事者があつまっている為、県内でも医療格差がある。これらを解消し、健康を地域で守れるようにしてほしい。(男性, 30～39歳)
- 茨城県は人口10万人に対する医師の数が埼玉県に次いで低いと聞いたことがある。医療人材の確保は重要と考える。また私達が病院にかかる回数を少なくするため健康促進対策も同時に考える必要があると思う。(女性, 50～59歳)
- 休日や夜間にも安心して病院にかかれる体制にしてほしいから。(女性, 50～59歳)
- 医師数を確保して、安全で信頼のおける医療を提供出来る医療機関が増えれば、人口も増え安心して生涯住めます。(男性, 40～49歳)
- 近くに大きな病院がありますが、医師が足りないようで閉鎖してしまった診療科があり残念です。(女性, 40～49歳)
- 医師の確保や、医療に携わる人々への待遇改善などに取り組んで欲しい。(女性, 40～49歳)

「高齢者の保健・医療・福祉サービスの充実」を選んだ理由

【記載内容の一部抜粋】

- 高齢者をみることができなくなった場合、特別養護老人ホームがまだまだ少なく、あき待ち状態だと聞いているから。お金の面でも低額の所がいい。(女性, 50～59歳)
- 今後、高齢化が進むので、利用者が自由に選べるようなサービスを多くしてほしい(金銭的に余裕がない人でも利用できるような)。(女性, 40～49歳)
- 今後、高齢者が増える。デイサービスや老人ホームなどの施設をもっと増やしてほしい。それに従事する人はもっと給料を増やしたほうが良い。(男性, 40～49歳)
- 高齢化に伴い、特に過疎地域における福祉サービス、公共交通の維持に力を入れてほしい。(女性, 60～64歳)
- 高齢者の割合が高くなっているが、福祉サービスが追いついていないように思えます。スムーズに福祉サービスが受けられるようになることを望みます。(女性, 50～59歳)
- 高齢化社会の中で介護者が離職する事なく、介護できる様、支援を充実させてほしい。被介護者と介護者が安心して生活できるとよい。(女性, 40～49歳)
- 今後ますます高齢者が増えていく中で、自分の親、また自分たちが高齢者になった時のことを考えると不安だから。(男性, 30～39歳)

「雇用創出（成長分野等の企業誘致、産業を支える人材の育成・確保等）」を選んだ理由

【記載内容の一部抜粋】

- 働きたいが、茨城県ではなかなか仕事が見つからない。都市部ならもっと仕事があるのに…という話をよく聞く。企業誘致で雇用の場や財源の確保に力を入れてほしい。(女性, 30～39歳)
- 若者が都会へ流出しなくてもすむよう、企業の誘致は必要に思う(職種を多くすることも必要かも)。特に県北の若者は、他県へ住むことが多いと思う。(女性, 50～59歳)
- 県北では高齢化が進んでいるので、県北で企業の誘致をがんばって欲しい。(男性, 18～29歳)
- やはり雇用を生む企業誘致は第一前提だと思う。そこを支えられる人材によって、良くも悪くも全て、人にかかっている(人材育成の必要)。(男性, 60～64歳)
- 私自身、仕事を探しているが、年齢等のこともありなかなかみつからないから。(女性, 40～49歳)
- 職を探している人が、必ず働いて家庭をもてる位の賃金がもらえる様な職につけるような環境づくり。(男性, 30～39歳)
- 子どもがあと何年後か就職するにあたり、県内の企業が充実していればありがたい。(男性, 40～49歳)

「子育て環境の充実（保育サービス，小児・周産期医療体制の充実など）」を選んだ理由

【記載内容の一部抜粋】

- 核家族が増加する中，子育てはとても大変。保育施設の増加，又微熱などの保育所対応，学童の時間の制限，共働きにはとても辛い。(女性，30～39歳)
- 子どもが発達障害があり，地域の支援センターなどに定期的にかよっていますが，そちらで時間がとられてしまい妻もなかなか仕事につけません。もう少し手当などあるとたすかります。(男性，30～39歳)
- 子育てに関する手当や施策は他の行政が行っているものはどんどん真似した方が良いと思います。おむつ専用のゴミ袋の配布や保育料の補助など，他の行政に遅れを取ってはいけないと思います。ここをしっかりと手当てしていけば，人口増加にもつながると思います。(男性，40～49歳)
- 人口減の中，県外からの転入者を増やすには，若い世代に対し，子育て環境の充実が求められると思う(制度を整え，「住みやすさ」をアピールすることが肝要)。(男性，50～59歳)
- 子どもが少ない。安心して産み，育てる環境がなければ子育てをする世代は県外に流出するし，県外からの移住も増えない。(男性，50～59歳)
- 周りの女性は子どもを産める，育てられるお金や環境があれば実際の子どもの人数+1～2人，子どもが欲しいと思っている人が多いため，祝い金や手当金の充実，保育サービスの充実。(女性，18～29歳)

「学校教育の充実（ICT活用，少人数教育，教員の資質向上など）」を選んだ理由

【記載内容の一部抜粋】

- 将来ある子ども達の教育向上，そのためには教員の資質向上は不可欠となる。県の発展に。(女性，65～69歳)
- 人財の育成のために，子どもたちの教育を充実させることは大切である。又，子どもたちが将来茨城県内で働きたい，生活したいと思えるような指導や，働く場を支援する体制づくりが必要。(女性，30～39歳)
- 未来へつながる子どもの能力向上のために頑張ってもらいたい。(女性，65～69歳)
- 授業がわからないまま進級していってしまうので，少人数教育をもっと取り組んでほしい。それから，そのためにも教員の資質向上を！(女性，40～49歳)
- 質の高い授業をして欲しい。教員の給料を上げて質向上。(男性，30～39歳)
- 学校教育が充実することによって，子どもの将来に色々な選択が増えると思っています。(女性，40～49歳)

「結婚，妊娠，出産への支援」を選んだ理由

【記載内容の一部抜粋】

- 出会いに恵まれない人も，安心して参加できる場があるといい。そして結婚できればいいと思う。(女性，65～69歳)
- 少子化・人口減少は大きな課題。働く場があり安心して結婚・出産・子育てできる環境が大切と考えます。(男性，50～59歳)
- 少子化が進むなかで，結婚する気持ちはあっても出会いがなく，先へ進めていない現状なので，とくに出会いを増やすために力を入れてほしい。(男性，18～29歳)
- 結婚していない人が多く見受けられ，雇用，教育の問題等多々あると思うが，国全体で施策を講じ少子化に歯止めをかけなければならないと思う。(男性，70歳以上)
- 少子高齢化が進む中，安心して出産，結婚できる環境を整える。もちろん待機児童もなくす政策も推進しなければならない。子ども一人産むと国で補助金を出すということも考えなければならないと思う。(男性，65～69歳)
- 検診にかかる費用をもっと少なくしてほしい。(女性，18～29歳)